

112団結旗びらきに結集しよう

日時 1月12日(土) 13~19時
 場所 千葉県労働者福祉センター・大ホール
 プログラム 第1部 旗びらきと結集報告 13時~
 第2部 あいさつとアトラクション 15時~
 各支部 最大限動員



80.1.5

No. 316

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
 (電話) 二三五八一九・(公衆電話) 三三二七二〇七

『旗びらき』の成功を起点に、激闘の80年を『反処分・運転保安』のオニ波闘争で切り拓け!

一月十二日、十三日より千葉県労働者福祉センター大ホールに於いて「一九八〇年動労千葉団結旗びらき」が開催される。この団結旗びらきはオニに昨年十二月末の政治的・不当処分攻撃に対して連続的に叩かれた1228と30オニ波減産闘争、年末年始を通しての非協力斗争を中間総括し、オニ波反処分・反合運転保安闘争の高揚を創り出す位置づけをもって行われる。

オニに、昨年末の不当処分攻撃に顕著に示された、政府・国鉄当局と「本部」反動暴力集団の一体化した動労千葉組織破壊攻撃を粉碎し、35万人体制粉碎と結合した三里塚・ジェット闘争を水路に「80年代に通用する自前の労働運動」を創造する突破口を切り拓く場として行われる。

われわれは、全組合員・家族の総結集をもって、激闘の80年代を叩うにふさわしい、動労千葉の揺ぎない団結を内外に顕示する旗びらきとして圧倒的に成功させなければならぬ。

叩きの大道を真一文字につき進むわれわれ

団結旗びらきの成功へ向けた具体的取り組みは、すでに動労千葉指示オニ号で明らかにした通りである。

激闘の80年代へ突入したいま、動労千葉闘争委員会が、三里塚・ジェット闘争を叩いたが故の政治的・不当処分に全組合員の怒りを総結集して、団結旗びらきの圧倒的成功と反処分・減産オニ波闘争の高揚をかちとるべく、各支部執行委員会を中心に組合員の心を一つにした一大奮起を要請する。

われわれが叩いたこと、きた「本部」反動暴力分子との組織攻防戦、二波にわたる三里塚ストライキ、そして叩いたが故にかけられたきた今回の階級的報復処分に対し、全組合員が一丸となつて年末年始を返上して長期に叩いぬいているのが動労千葉の姿に、政府・国鉄当局としてそれにすがりついている。武装親征隊、たまた「本部」反動暴力分子は、いい知れぬ恐怖を感じ、打撃をうけている。

なぜなら、いかなる弾圧・恫喝も動労千葉をつき崩すことができないとい

うこと、どんな甘言・エサも叩う労働者のホコ先をにぶらすことができないからである。この歴然たる証をつきつけられた

酒食のもてなしはもちろん高価なゴルフ会員権をもらって、武蔵野線合理化を了承し、スト権ストを裏切り、貨物安定宣言でスト返上を申し出るような腐敗した組合指導部とは断然訳がちがうのだ。動労千葉をはじめ全国の戦闘的良心的仲間を攻撃し排除し動労を反動的に変質させる御ほうびに、八鐵委員長が高木総裁の株刺車に添乗させてもらうという——全く腐敗が著した路を一蹴して、われわれ動労千葉は、弾圧されようと傷つこうと国鉄労働者の真の利益のために、抑圧された民衆の勝利のために、どんなに苦しくとも最後まで奥力で叩く道をきっぱりと選んだのである。

80年の幕明けと共に、二期攻撃の切迫化と並び、35万人体制攻撃の一大突破口首都圏乗務効率アップと検修民託合理化攻撃を目前にしている。叩く動労千葉は必ずや全国の戦闘的水路を叩くだろう。旗びらきの成功を、断固たるオニ波闘争にうって出よう。